

■事業者向け(児発)_わくわくクラブ本厚木校

		チェック項目	はい	いいえ	現況や改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1	有効活用できている。今後も適正な基準内で児童の特性における行動の特徴を考慮しながら適宜善処する。
	2	職員の配置数は適切であるか	8		法令に則った人員配置基準は満たしている。一部の職員に負荷がかかりすぎることがないようにより充実させていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	1	全ての特性に応じているとは考えていない。今後も全ての児童が過ごしやすい環境づくりを実現できるよう改善点に優先順位を設けて検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8		清潔な空間を保っている。活動にあわせた環境を有効活用している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8		各種会議体の中で、協議と情報共有を図っている。また責任者による個別の面談等を通して職員一人ひとりの目標設定と改善行動の醸成に努めている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		保護者の意向はその意向の背景などを分析して業務改善の必要性を検討し、必要性があると認められる場合には可及的速やかに善処するよう努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8		HPで公表し、改善事項について常に検討善処している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	2	完全なる外部機関による評価は行っていないが、法人内において当事業と直接関係のない人物による客観的評価を法人内規程に則って実施している。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		法人内において徹底した研修計画に基づき知識・技術・思考等、他角度から職員の資質向上を図っている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8		ご家庭ごとのアセスメント等に基づいた計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8		利用に際し、ご家庭の状況や児童の行動面での分析をする為のツールを提出していただいている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8		児童の特性に応じて適切に設定されている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8		事業所内において情報共有の上実践されている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		事業所内において協議の上立案している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8		事業所内において協議の上立案している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	7	1	児童の特性に応じて検討している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1	毎日定例で行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8		日報や回覧板等を活用し、共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		情報管理はすばやく正確に行うことを徹底し、より良い支援に生かすよう努めている。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		計画の見直しに十分活用できているとはいえない。今後は定期的なモニタリング結果を計画の見直しに反映できるよう努める。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8		事業所ごとに必要性に応じて適切な担当者を決定して参画している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8		十分とは言えないと考える。保護者を通じての情報共有に留まっている。今後はより緻密な体制を整備していく。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8		医療的ケアが必要な児童が在籍する場合は関係書記官との連携を図っていく。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8		医療的ケアが必要な児童が在籍する場合は主治医等と連絡体制を整えていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	1	十分ではないと考えている。今後は情報共有の手法を検討し、個人情報の取り扱いに十分配慮して実行していく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	1	十分ではないと考えている。今後は情報共有の手法を検討し、個人情報の取り扱いに十分配慮して実行していく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2	十分ではないと考えている。今後は広く情報収集に努め、関連諸機関での研修等に職員を参加させる計画を立案していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	5	現在は機会を提供できていない。今後は実態に応じて立案していく。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	4	十分ではないと考えている。今後は広く情報収集に努め、関連諸機関での研修等に職員を参加させる計画を立案していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		毎日保護者の方とコミュニケーションを図りながら信頼関係の醸成に努めている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	6	2	「トレーニング」というほどのものは行っていない。しかし、保護者とのコミュニケーションの中で家庭支援の観点を保って接している。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		丁寧に説明を行い不安を拭えるよう努めている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8		利用に際して支援計画を含めて保護者に同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1	定期的に情報交換をする場を設け、悩み等の聴き取りとケアに努めている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	2	定期的に情報交換をする場を設け、保護者同士の横のつながりを醸成できるよう努めている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		相談や申入れには誠実かつ可及的速やかに対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		定期的なお手紙やHP上での情報発信に努めている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8		法人内で規程を設けており、規程に則って適切に管理している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1	基礎的・基本的事項と考え配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	4	十分にできていないと考えている。今後は地域に根ざした事業所として発信力を強めていく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8		マニュアル化されているが、保護者への周知は十分ではないと考えている。今後周知の仕方を検討している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		適宜行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8		契約時に書面にて確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	8		医師の診断書等は必要に応じて保護者に提出を求めており、提出があれば必要な配慮を講じる。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		作成及び共有は常時行われている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1	法人内外の研修等に適切な人員が参加し、職員同士の情報共有に努めている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	1	契約時に保護者に説明の上で対応方法について共有している。